



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1997, 67(6):
744-750

ISSUE DATE:

1997-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96002>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成9年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第67巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.67 no.6

物性研究

1997 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討議しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文の中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**
ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*□*）、ゴシック（**□**）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討議しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文の中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**
ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*—*）、ゴシック（**—**）、ギリシャ文字（ γ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

編集後記

教養部改組によって生まれた、私の所属する学部が創立4年目を迎え、初の卒業生を送り出すこととなった。そこで私も初めて「卒業研究」の指導を行なったわけであるが、これがなかなかの難物であった。まず基礎知識がない。文系から理系まで幅広い選択肢を誇る我が学部のカリキュラムのためか、あるいは名が体を表さない授業科目のためか、物性理論のセミナーに集まった学生の多くは熱力学も統計力学も単位はおろか受講さえしていなかった。そこを何とか乗り越え、セミナーを進めていくうち、発表や質問の受け答えが変であることに気がついた。どうも彼らは古典文学などを読むのと同じような調子で物理の文献を読んでいるようなのだ。「…と書いてあります。」というのが彼らの典型的な言い方で、詳しく書かれていない導出や根拠を問うと「調べてない」「考えてない」という答が返ってくる。2者択一や3者択一の形で質問すると、あてずっぽうの答を言って、それが正解ならば得意気な顔を見せる。どうやら正解を当てるゲームをしているのだと思うらしい。受験勉強の影響なのか、テレビのクイズ番組の影響なのかよくわからないが、「なぜそれが正しいのか」には興味がないようだ。本に書いてあるから、あるいは教師がそう言うから「正しい」のであって、自分で論理を追って納得しようとは思わないらしい。このことに気づいてからは質問、詰問、ときには怒鳴り声をあげて、学生の意識改革に努めたのであった。それがどれだけ成功したかは知らないが、のんびりしていた彼らも、レポートの締切が近づいて切羽詰まってくるとようやくやる気を見せ、何とか形だけは整えて無事卒業することになったのである。教育は難しい。こちらとしてもいろいろなことを学んだ1年であった。それにしても、私の学部が特殊なのでしょうか？皆さんのところはいかがですか？

(S. T.)

物 性 研 究 第67巻第6号 (平成9年3月号) 1997年3月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

編集後記

教養部改組によって生まれた、私の所属する学部が創立4年目を迎え、初の卒業生を送り出すこととなった。そこで私も初めて「卒業研究」の指導を行なったわけであるが、これがなかなかの難物であった。まず基礎知識がない。文系から理系まで幅広い選択肢を誇る我が学部のカリキュラムのためか、あるいは名が体を表さない授業科目のためか、物性理論のセミナーに集まった学生の多くは熱力学も統計力学も単位はおろか受講さえしていなかった。そこを何とか乗り越え、セミナーを進めていくうち、発表や質問の受け答えが変であることに気がついた。どうも彼らは古典文学などを読むのと同じような調子で物理の文献を読んでいるようなのだ。「…と書いてあります。」というのが彼らの典型的な言い方で、詳しく書かれていない導出や根拠を問うと「調べてない」「考えてない」という答が返ってくる。2者択一や3者択一の形で質問すると、あてずっぽうの答を言って、それが正解ならば得意気な顔を見せる。どうやら正解を当てるゲームをしているのだと思うらしい。受験勉強の影響なのか、テレビのクイズ番組の影響なのかよくわからないが、「なぜそれが正しいのか」には興味がないようだ。本に書いてあるから、あるいは教師がそう言うから「正しい」のであって、自分で論理を追って納得しようとは思わないらしい。このことに気づいてからは質問、詰問、ときには怒鳴り声をあげて、学生の意識改革に努めたのであった。それがどれだけ成功したかは知らないが、のんびりしていた彼らも、レポートの締切が近づいて切羽詰まってくるとようやくやる気を見せ、何とか形だけは整えて無事卒業することになったのである。教育は難しい。こちらとしてもいろいろなことを学んだ1年であった。それにしても、私の学部が特殊なのでしょうか？皆さんのところはいかがですか？

(S. T.)

物 性 研 究 第67巻第6号 (平成9年3月号) 1997年3月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
電話 (075) 722-3540, 753-7051
FAX (075) 722-6339

物 性 研 究 67-6 (3月号) 目 次

○半古典論と準位統計.....	佐野 光貞.....	661
○相関エネルギーの r_s 展開とその金属密度領域への外挿公式	遠藤 孝徳、堀内 雅史、高田 康民、安原 洋.....	708
○研究会報告 「タンパク分子によるエネルギー変換」.....		727
「YKIS '96 湯川国際セミナー『ガラス転移ダイナミックスとその周辺』」		729
○ひろば YKIS '96 "Dynamics of Glass Transition and Related Topics" に 出席し考えた事など.....	川崎 恭治.....	739
○編集後記.....		744
○目 録 (Vol. 66, 67).....		745

物 性 研 究 67-6 (3月号) 目 次

○半古典論と準位統計.....	佐野 光貞.....	661
○相関エネルギーの r_s 展開とその金属密度領域への外挿公式	遠藤 孝徳、堀内 雅史、高田 康民、安原 洋.....	708
○研究会報告 「タンパク分子によるエネルギー変換」.....		727
「YKIS '96 湯川国際セミナー『ガラス転移ダイナミックスとその周辺』」		729
○ひろば YKIS '96 "Dynamics of Glass Transition and Related Topics" に 出席し考えた事など.....	川崎 恭治.....	739
○編集後記.....		744
○目 録 (Vol. 66, 67).....		745